

創造的復興ウィーク・創造的復興サミット運営等業務 公募型プロポーザル 仕様書

1 業務名

創造的復興ウィーク・創造的復興サミット運営等業務

2 目的

2025 年(大阪・関西万博開催年)は阪神・淡路大震災から 30 年の年であり、ひょうご EXPO ウィークの一つとして「災害からの創造的復興」をテーマとした創造的復興ウィークを展開する。

当該ウィーク期間中に、国内外から災害復興に携わる政策決定者、実務家、専門家が一堂に会し、震災からの「創造的復興」の理念を国内外で共有化、次世代へ継承し、次なる災害に備えるため、国内被災地等と連携し、「創造的復興サミット」、「エクスカーション」、「高校生・大学生による活動報告会」を開催する。

これらを展開するにあたっての運営等業務を円滑に実施することを目的とする。

3 開催概要

別紙 1 実施内容（案）のとおりに従う

4 委託業務の範囲

(1) 創造的復興サミットの準備・運営

国内外の首長及び関係団体等が多数参加する国際会議であることを踏まえ、会場内の装飾を含む設営や会議の運営・演出等について、企画提案すること。

なお、見積金額には、以下の内容を計上すること。

ア 会場受付 2 名、同時通訳者 1 名（英語、交代要員を含む）、

カメラマン（スチール） 3 名、統括責任者等のスタッフ手配

イ 事前準備及び会場設営

(ア) スタッフマニュアル作成

(イ) 卓上旗、室内旗、出席者名札等の作成、当日資料の作成（机上配付はペーパーレスの観点から、タブレット端末を使用した閲覧も考えられるためタブレット端末の手配も想定すること）、自立型のスクリーン

ウ 案内状・礼状の作成・発送（日本語及び英語、最大 30 名程度）

※準備・運営にあたっては、神戸ポートピアホテルと連携すること（下記 5 参照）

(2) 「(仮称) 兵庫宣言素案」及び「創造的復興サミット」進行シナリオの作成

委託者が提供する「(仮称) 兵庫宣言」骨子案を基に、委託者が指定する有識者と協議しながら、素案を作成すること。

また、「(仮称) 兵庫宣言」のとりまとめを踏まえた当日の進行シナリオを作成すること。当日のプログラム案は**別紙 2**のとおりに従う

ア 「(仮称) 兵庫宣言」の素案作成（2025 年 7 月 11 日まで）

イ 「創造的復興サミット」進行シナリオ（主催者である兵庫県知事の発言骨子を含む）の作成

(3) エクスカーションの実施

サミット出席者のうち希望者に対して、当日午前中にエクスカーションを実施す

るため、輸送用のバスの手配や行程管理を含む企画提案とすること。（視察先との調整も含む。視察先は、**別紙3**のとおり）

なお、見積金額には、以下の内容を計上すること。

ア 大型バス1台の手配

イ 同時通訳者1名（英語、交代要員を含む）、カメラマン（スチール）1名、バスガイド1名の手配

ウ 視察先での昼食（最大30名程度）

エ 人と防災未来センターへの入館（最大30名程度）

(4) 高校生・大学生による報告会の準備・運営

国内の高校生・大学生5名とファシリテーター1名が、「災害の経験と教訓を「世代」「地域」を越えてどのように継承・共有することができるか。」についてパネルディスカッションを行うため、会場の準備・運営、報告会の記録等の業務について企画提案とすること。当日のプログラム案は**別紙2**のとおり

なお、見積額には、以下の内容を計上すること。

ア 会場受付1名、カメラマン（スチール）2名、統括責任者等のスタッフ手配

イ ファシリテーター1名への謝金支払い（200,000円を概算として見積金額として計上すること。金額確定後に精算手続きを行う。）

※会場はサミット会場としているため、神戸ポートピアホテルと連携すること（下記5参照）

(5) その他事業運営に必要な業務

ア 海外招待者のアテンド（空港から会場まで等国内での交通費）

イ 出席者への旅費支払い（1,700,000円を概算として見積金額として計上すること。金額確定後に精算手続きを行う。） 等

ウ 会場となる神戸ポートピアホテルとの緊密な調整

5 業務の補足

(1) 創造的復興サミット会場の設営

別紙4 想定レイアウト図のとおり

テーブル、イス、同時通訳ブース及びマイクなどの備品、音響機材や吊看板等については、神戸ポートピアホテルへ県が別途委託して準備する。

(2) 創造的復興サミットのオンライン配信

会議のオンライン配信は神戸ポートピアホテルへ県が別途委託する。